

研修医・指導医リレーエッセー⑯



川崎医科大学附属病院での研修を通して

川崎医科大学附属病院 研修医1年 生田 歩実

川崎医科大学附属病院は、岡山県倉敷市松島に位置する高度急性期医療を担う中核病院です。大学病院として多くの診療科を有し、地域医療から先端医療まで幅広く対応しています。敷地内には大学・附属高校・看護専門学校などの教育機関も集まり、医療人育成の拠点としての側面も有しております。

私は、この春から川崎医科大学附属病院で初期研修医として勤務しています。1年目の研修医は全部で19人。全国各地の出身で、多様な背景をもつ仲間が集まっています。もともと旅行が好きな私にとって、他県の名産や観光地、地元の祭りなどの話を聞くことは楽しみのひとつです。

2年目の先輩方もとても気さくで、診療の合間や夜勤中に雑談を交えながら多くのことを教えてくださいます。特に夜間救急の現場では、2年目の先生や指導医の先生方が1年目をサポートしてくださる体制が整っており、学びの多い時間になっています。

初期研修も始まって数ヶ月が経ち、日々の業務の中で少しづつできることを増やしていく中で、まだ緊張の連続ですが、倉敷という穏やかな街の空気と、医療現場の活気が調和する環境の中で、一歩ずつ成長できていることに感謝しています。

私自身は岡山県高梁市の出身で、地元には日本三大山城の一つである“備中松山城”があります。雲海に浮かぶ姿が有名ですが、初夏の青葉に包まれた城もまた趣があります。猫が城主を務めていることも最近は話題となっていますが、今回はその備中松山城の写真を添えさせていただきました=写真右。岡山県には、四季折々の豊かな自然と、それに伴う温かさがあるように感じます。これからもこの地で学び、地域医療の一翼を担えるよう努めたいと思っています。

四季の変化を感じるこの頃ですが、季節が移ろうように、私自身も日々の経験を重ねながら少しづつ成長していければと思います。今後も先輩方から多くを学びつつ、患者さんに寄り添う医療を実践し、岡山の地に根ざした医師を目指して研鑽を積んでまいります。

今後とも川崎医科大学附属病院と当院の診療活動をよろしくお願ひいたします。



研修医になりたての頃のJ2とJ1の親睦会
(左手前から2人目が筆者)